



# イノシシ保定技術 プログラム

Ver.1



かがやくけん、かがわけん。

香川県

# プログラムについて

## プログラムの目的

- 本プログラムは、わなで捕獲したイノシシを安全かつすみやかに殺処分するために必要な保定ほてい方法と止めさしとめさしの方法について、わなの種類別に解説しています。

## 注意事項

- イノシシの捕獲や止めさしには許可等が必要です。  
このプログラムは、法令に基づいた捕獲許可等を受けた方を対象に作成しています。法令やマナーを守って、安全に捕獲を行ってください。
- 安全に保定ほていと止めさしを行うためには、イノシシを過剰に興奮させないことが重要です。イノシシの気性や行動の特徴をよく理解して、落ち着いて作業にあたるよう心がけてください。
- 止めさしの際には、イノシシの動きをよく観察して、作業者や周囲の人の安全を確保しながら、適切に処置を行いましょう。
- 慣れるまでは、できるだけ熟練者の指導の下、一連の作業を実施するようにしてください。

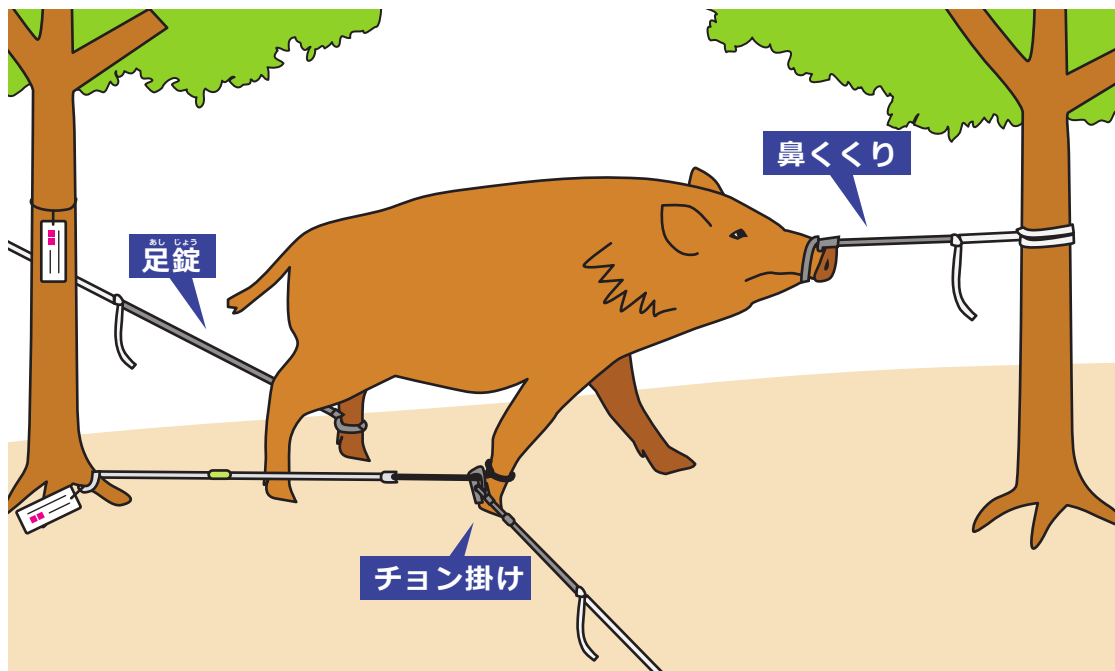
## 目次

- プログラムについて ..... 1p
- 1. 保定ほていに役立つ機材 ..... 2～3p
- 2. 止めさしとめさしに役立つ道具 ..... 4p
- 3. 捕獲したイノシシに近づく前に・・・ ..... 5～6p
- 4. イノシシを保定する【くくりわな編】 ..... 7～8p
- 5. イノシシを保定する【はこ・囲いわな編】 ..... 9～10p
- 6. イノシシを殺処分する（止めさし） ..... 11～13p

# 1. 保<sup>ほ</sup>定<sup>てい</sup>に役立つ機材

捕獲されたイノシシは、興奮していて非常に危険です。

銃器以外の方法で止めさしを行う場合、イノシシが自由に動ける状態で作業をすると、急所をはずしたり、イノシシが突然暴れ出したりして、作業者がケガをするおそれがあります。そのため、止めさしでは、保<sup>ほ</sup>定<sup>てい</sup>具を効果的に使ってイノシシの動きを止めることが重要です。



## チョン掛け

くくりわなで捕獲されたイノシシを保<sup>ほ</sup>定<sup>てい</sup>するための道具です。くくりわなのバネやワイヤーに引っ掛け、イノシシが自由に動ける範囲を制限することができます。



## 鼻くくり

すべてのわなで利用できる保  
定具です。

イノシシの鼻や首、足に掛けることで、イノシシの動きを制限することができます。



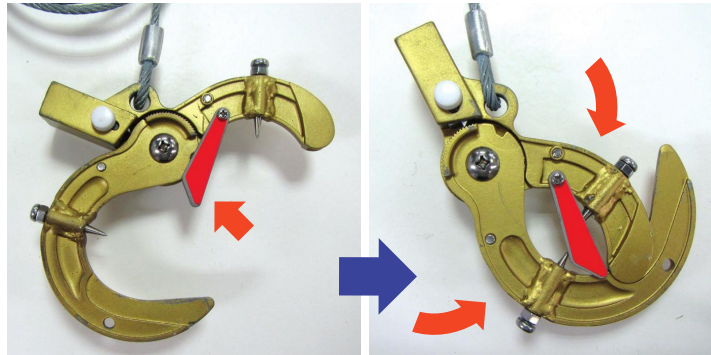
## 足錠

すべてのわなで使用する保  
定具です。

手錠のような構造で、確実にイノシシの足を取ることができます。バネの力が強いので、取り扱いには十分な注意が必要です。

赤いマーカーに足を当てると

締まる

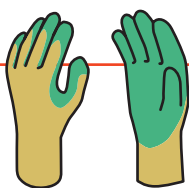


※ 保  
定具は、くくりわなメーカーで購入できます。

## 保 定具の使い方

保  
定具には、伸縮性が低く、十分な強度のあるロープを接続し、2m程度の棒(直径12mm程度)を挿して使用します。

詳しくは、メーカーの取扱説明書を参照してください。



ロープを引く際は、必ず滑らない手袋をはめるようにしましょう。

## 2. 止めさしに役立つ道具

ここでは、銃器以外の道具について簡単に紹介します。止めさしに用いる道具は、人に対しても危険ですので、十分に注意して取り扱ってください。

### 狩猟用刃物

頸動脈や心臓を刺し、イノシシを絶命させます。

狩猟用刃物類は、「銃砲刀剣類所持等取締法」に従って適切に管理、携行する必要があります。

### ハンマーや木の棒など

頭部を殴打することで脳しんとうを起こし、イノシシを失神させることができます。

倒れても、意識を失っただけで絶命したわけではないので、注意が必要です。

### 簡易電殺器



バイク用のバッテリーを 100V の交流電流に昇圧して使用します。電極針をイノシシの筋肉に刺して全身に電気を流すことで、イノシシを絶命させることができます。

電極針を露出させたまま運搬しないなど、安全管理に努めましょう。



※ 簡易電殺器を安全に使用するためには、電気の性質や装置の構造に関する基本的な知識が必要です。また、電圧を上げると、事故が発生する確率が高くなるので、100V 以上に昇圧することは推奨できません。

※ 使用時には、ゴム手袋やゴム長靴など、電気を通さない装備をしてください。

※ 感電するおそれがあるので、川の中や降雨時の使用は避けてください。

### 3. 捕獲したイノシシに近づく前に…

イノシシの捕獲では、わなの見回りや捕獲個体の止めさしの際に、最も事故が発生する確率が高くなります。

事故を未然に防ぐためには、よく発生する事故のパターンを知り、適切に対処することが重要です。

1 離れた場所から、手をたたいたり、大きな声を出して、イノシシの反応をうかがいましょう。

くくりわなで捕獲されたイノシシは、人が近づくまで息を潜めて、じっと動かないことがあります。

わなの位置を正確に把握し、不用意に近づかないようにしましょう。



※ 捕獲を知らせるセンサーや目印を使って、遠くからでも捕獲の有無を確認できるようにしておくのも効果的です。

イノシシの場合、捕獲された個体の近くに親や子供が潜んでいることがあります。

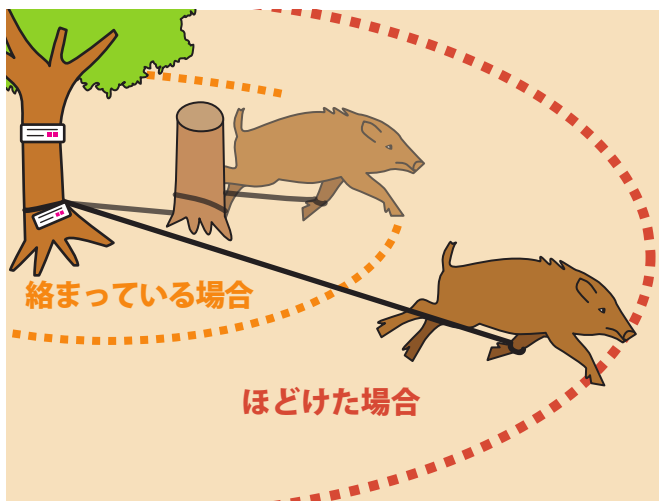
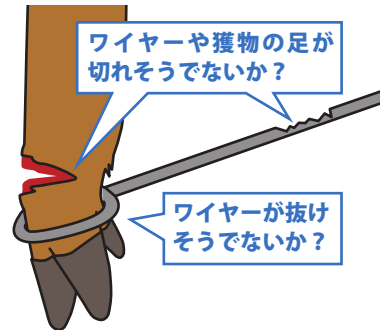
近くにイノシシの気配がある場合は、無理に近づかないようにしましょう。



大きな木などの陰から、わなや捕獲されたイノシシの状態を確認しましょう。

### くくりわなのチェックポイント

- ワイヤーは足に深く掛かっているか
- 足やワイヤーが切れかけていないか
- 根付け木が折れかけていないか
- イノシシが過剰に興奮していないか
- イノシシはどこまで動けるか



イノシシが動ける範囲を正確に見きわめる



切れかけた足とワイヤー

### はこわな・困いわなのチェックポイント

- ストッパーはしっかりと掛かっているか
- イノシシが、わなから出そうでないか
- わなが壊れかけていないか
- イノシシが過剰に興奮していないか



イノシシやわなの状態を確認する

### ストッパーの状態



正常な状態



内側から扉を開けられる状態

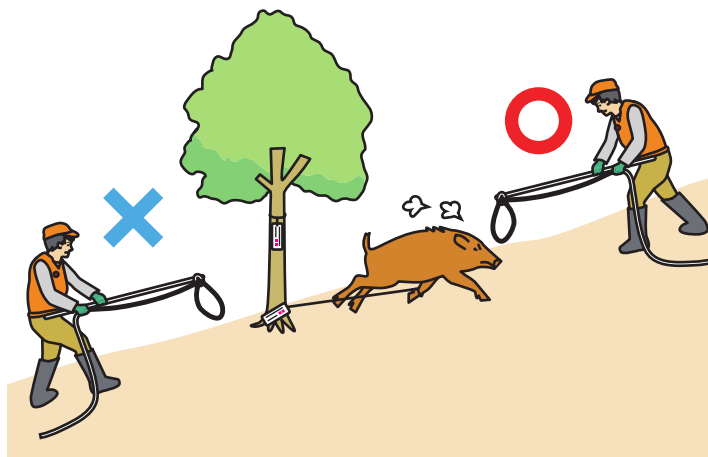
## 4. イノシシを保定する【くくりわな編】

銃器以外の方法で止めさしを行う場合は、必ずイノシシを保定してから止めさしを行うようにしましょう。

### イノシシの動きを確認しながら、斜面上側から近づく。

イノシシを過剰に興奮させないことが重要です。イノシシに近づく際は、ゆっくりと静かに動くようにしましょう。

また、作業中はイノシシから目を離さずに行動することが大切です。



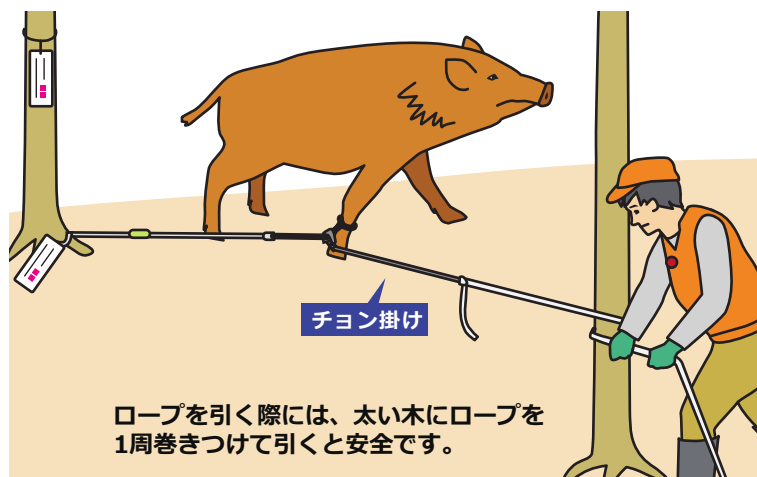
斜面の下側から近づき、ワイヤーが切れてイノシシに襲われる事故が多く報告されています。

### チョン掛けを用いて、イノシシの動きを制限する。

チョン掛けは、根付けを中心にイノシシが自由に動ける場合に保定するのに有効な道具です。

※ ワイヤーが木に巻きついているなど、イノシシをそのまま鼻くくりで保定できる状況では、省略できます。

できるだけ足に近い部分のバネかワイヤーにフックを掛けて、根付け木と反対方向にある木などにロープを固定します。



ロープを引く際には、太い木にロープを1周巻きつけて引くと安全です。



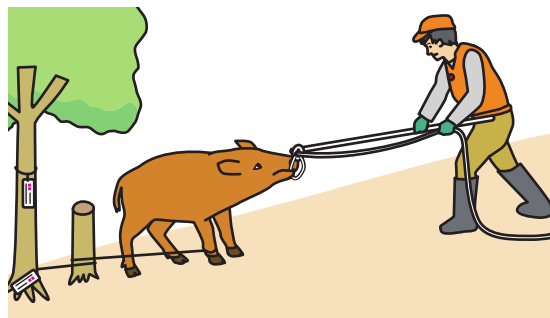
## 鼻くくりでイノシシの頭部の動きを止める。

イノシシの一番の武器である牙きばによる攻撃を止めるための道具で、最も一般的な保定具ほていです。

鼻くくりは、イノシシの行動範囲や攻撃性の高さに応じて使用方法が異なります。

### イノシシの動きが小さく、比較的落ち着いている場合

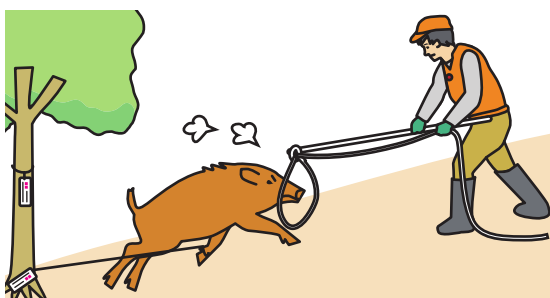
輪の大きさを小さく広げ（直径10cm程度）、イノシシが噛みにくるタイミングで鼻にワイヤーを掛けます。



※ 棒を突き出すと同時にロープを引き絞るのがコツです。

### イノシシが興奮して、突進を繰り返すような場合

輪の大きさを大きく広げ（直径20cm程度）、突進するイノシシの顔に押し込むように棒を突き出してワイヤーを掛けます。



イノシシに保定具ほていを掛けたら、無理にロープを引いてはいけません。ロープを立木に巻きつけて、イノシシが前に出るタイミングでロープを絞り、徐々に動きを止めていきます。



ワイヤー部分を引っ張ると手が切れます。作業中は、滑らない手袋を着用し、ロープを引くようにしましょう。

## 足錠あしじょうで、わなでくくられていない足を取り、イノシシの行動を完全に止める。

完全にイノシシの動きを止めてから処置をしたい場合は、足錠あしじょうを使います。踏ん張っている足に勢いよく押し当てることで、足錠あしじょうが掛かり、ロープを立木などに固定することにより、動きを完全に止めることができます。イノシシが興奮していたり、足やワイヤーが切れかけている場合は、通常より長い棒を挿して、離れた場所から足を取るようにしましょう。

※ 足錠あしじょうは、バネの力が強いいため、取り扱いには十分な注意が必要です。

※ 取扱説明書の注意事項をよく読んで使用してください。

## 5. イノシシを保定する【はこ・囲いわな編】

安全かつ確実に止めさしを行うには、はこわなや囲いわなでもイノシシの動きをしっかりと止めることが重要です。

特に、複数の幼獣を一度に捕獲したような場合は、安全確保のため、必ず保定してから止めさしを行いましょう。

### 鼻くくりでイノシシの鼻を保定する。

はこわなの隙間からワイヤーを入れ、イノシシの鼻をくくります。

はこわなの上の方からワイヤーを入れることで、あごや前足が浮き、止めさしがしやすくなります。



### 鼻くくりや足錠でイノシシの足を保定する。

うまく鼻をくくれない場合に有効です。

はこわなの隙間から鼻くくりや足錠あしじょうを入れ、イノシシの足を保定します。足錠あしじょうの場合は、踏ん張った後足を、鼻くくりの場合は、繰り返して足を置く場所を見つけて、素早くくくるのがコツです。



イノシシに保定具を掛けたら、すぐに棒を保定具から外してください。棒をつけたままだと、イノシシが首や足を振った際、棒が折れたり、暴れたりしてケガをするおそれがあります。



イノシシに保定具を掛けたら、無理にロープを引いてはいけません。ロープを立木に巻きつけて、イノシシが前に出るタイミングでロープを絞り、徐々に動きを止めていきます。



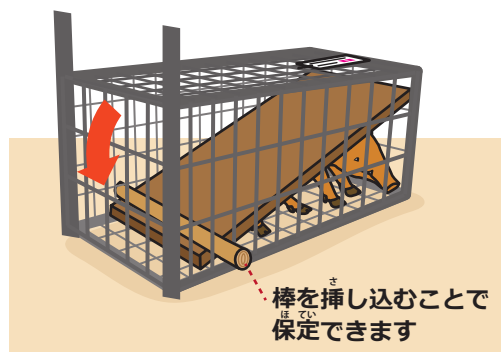
ワイヤー部分を引っ張ると手が切れます。作業中は、滑らない手袋を着用し、ロープを引くようにしましょう。

## 棒を挿し込んでイノシシの動きを封じる。

はこわなで有効な保定方法です。  
はこわなに竹や角材などを挿して  
いくことで、少しずつ空間を狭くして、  
イノシシを動けなくしていきます。



※ あらかじめ装着していた可動式の  
天井や壁で空間を狭める方法も  
有効です。

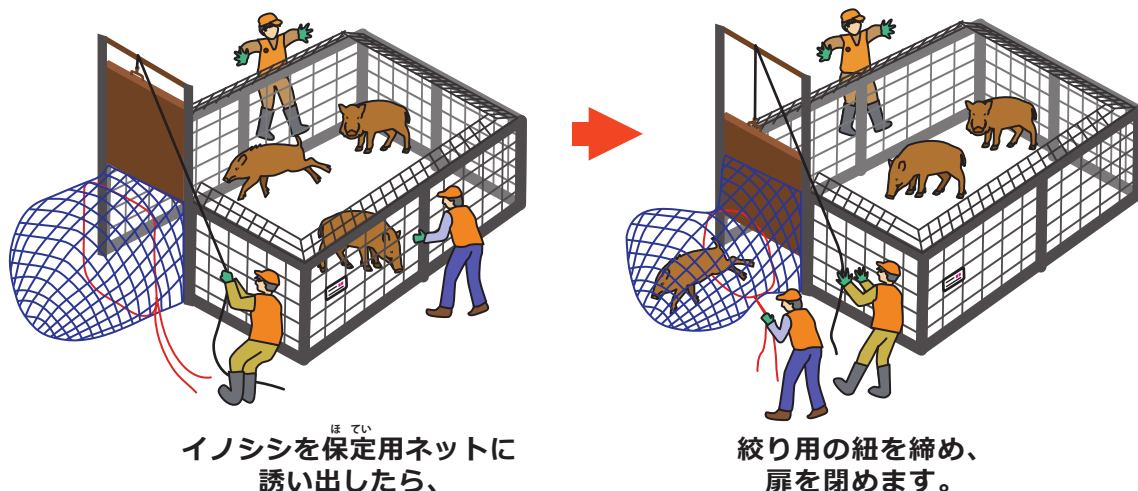


## 保定用ネットや小型の檻に誘い出して保定する。

大型の囲いわなや、よく動き回る小柄なイノシシを捕獲した場合に  
有効な保定方法です。

- 1 扉の部分にゴルフネットなどで作った袋状の網（保定用ネット）  
を装着する。
- 2 滑車を利用して、少し離れた場所から扉を開ける。
- 3 わなからイノシシが飛び出したら、保定用ネットの絞り用の紐を  
しぼって、扉を閉める。
- 4 殺処分後、上記の作業を繰り返すことで、複数のイノシシを  
順番に処置できます。

※ 小型の檻への誘導も同じ手順で実施します。



## 6. イノシシを殺処分する（止めさし）

止めさしは、イノシシができるだけ短い時間で、確実に絶命する方法で行うことが重要です。

処置後は、確実に絶命したことを確認してから、次の作業（運搬や解体、個体処分等）を行うように心がけましょう。

### 狩猟用刃物で止めさしをする。

保定用ネット以外のすべてのわなや保定方法で有効です。

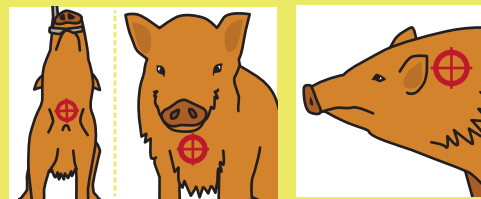
狩猟用刃物で刺すと、大きな鳴き声と大量の血が出るため、処置を行う場所や時間帯、周囲の人に対しては配慮が必要です。

口や牙、足の動きに注意しつつ、急所を狙って刺します。

### 刺殺の際の留意点

- 刃先を人に向けないこと
- 不用意に刃物を振り回さないこと
- よく研いだ刃物を使うこと

### 【狙う場所】



のど  
喉（第一肋骨の上）

耳の後ろ



左わきの下

※ はこわなでは、イノシシを刺した後、刃物の柄が折れたり、暴れたりしてケガをすることがあるため、すぐに刃物を抜くなど、注意が必要です。

### ハンマーや棒で失神させた後、止めさしをする。

くくりわなや、保定用ネットで保定されたイノシシに有効です。

中途半端に叩くと、かえってイノシシを興奮させて危険ですので、柄の端を持って、力いっぱい振り下ろしてください。

イノシシが失神したことを確認したら、狩猟用刃物や簡易電殺器などで、とどめを刺します。



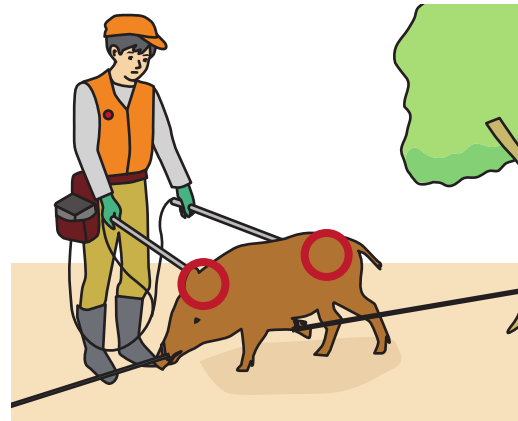
肩間を狙って叩きます。

## 簡易電殺器で止めさしをする。

すべてのわなで有効です。

2本の電極針を上半身と下半身の筋肉に離して刺すことで、全身に電気を流すことができます。

口や<sup>きば</sup>牙、足の動きに注意しながら、脂肪の少ない部分を狙って刺します。



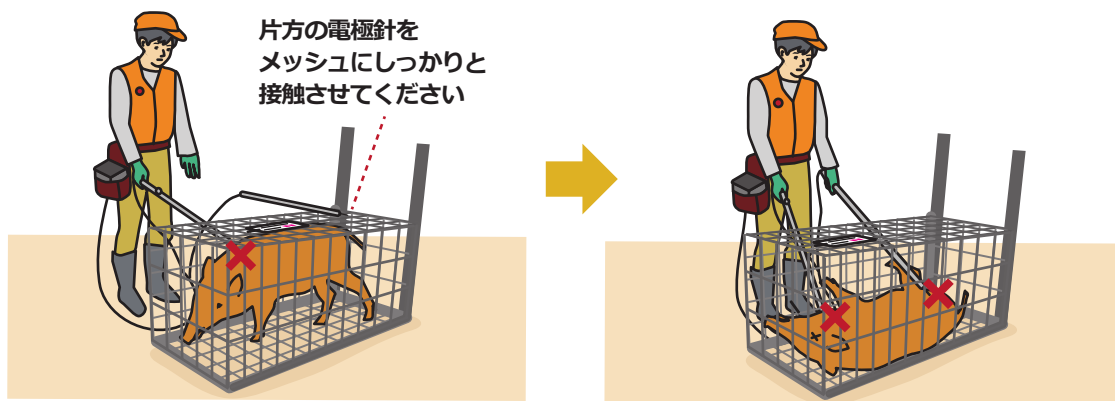
上半身（顔や首）と下半身（おしりや太もも、すねなど）に離して電極針を刺します。

## 電気殺の際の留意点

- 針先を人に向けないこと
- 使用前に装置の状態を確認すること
- 十分に充電したバッテリーを使うこと

金属製のはこわなでは、わなをアースにして、イノシシの上半身に電極針を刺すことで、全身に電気を流すことができます。

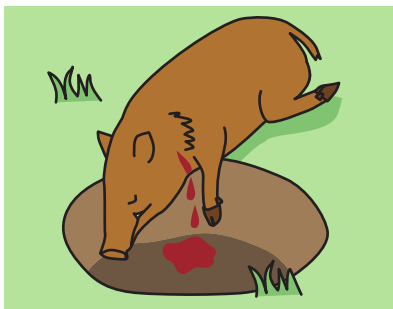
イノシシが倒れたら、電極針を上半身と下半身に刺し直して、再び通電してください。1分間、電気を流すことで確実に絶命します。



片方の電極針をメッシュにしっかりと接触させてください

わなをアースにして通電し、

イノシシが倒れたら、電極針を直接イノシシに刺し直します。



## ワンポイント！

放血する際には、頭を下にしておくと、よく血が抜けます。

胸部を圧迫すると、より多くの血を一気に出すことができます。

## 銃器で止めさしをする。

くくりわなで有効です。

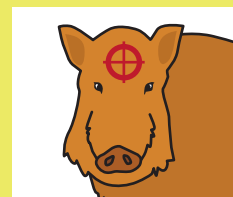
足やワイヤーが切れかけていたり、暴れて近づくことが難しいイノシシの処置に適しています。

使用する銃器に応じた射程距離まで近づきます。イノシシの動きが止まったことを確認の上、急所を狙って発砲します。

### 発砲の際の留意点

- 暴発や誤射の防止に努めること
- 矢先の安全確認を行うこと
- バックストップを確保すること

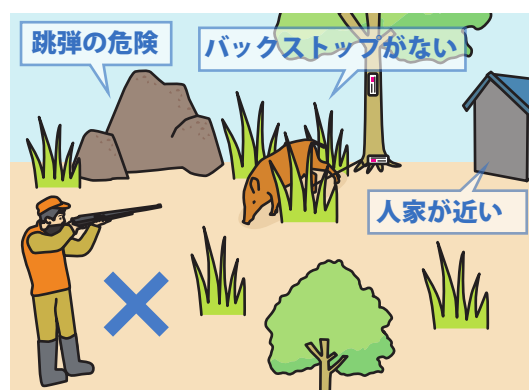
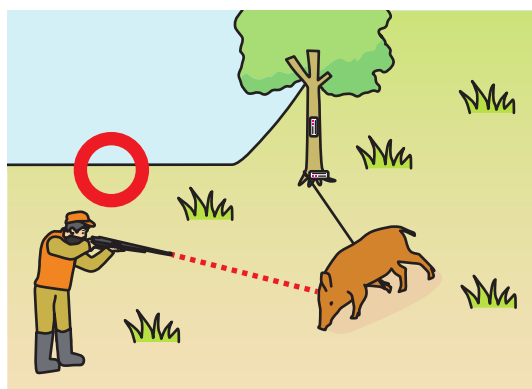
### 【狙う場所】



眉間



耳の後ろ



※ 銃器を使用できる場所は法令等で制限されています。特定猟具使用禁止区域（銃器）や住居集合地域、寺社境内、墓地などでは使用できません。

※ はこわなや囲いわなでの止めさしに銃器を使う場合は、矢先や跳弾の届く範囲に人がいないか、十分に確認してください。

※ 必要以上に威力のある銃器を用いると、事故が発生するリスクが高くなります。状況に合った適切な銃器を選択しましょう。

■ 監修・写真提供  
阿部 豪（株式会社野生鳥獣対策連携センター）

■ 引用・参照  
「箱わなと囲いわなによるシカ捕獲の基本」  
（兵庫県立大学自然・環境科学研究所／兵庫県森林動物研究センター）  
「イノシシ・シカ捕獲マニュアル」  
（岡山県自然環境課）

## イノシシ保定技術プログラム

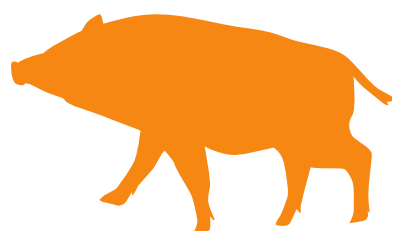
---

平成 29 年 3 月 初版

■ 編集・発行／香川県環境森林部みどり保全課

■ 制作／株式会社 野生鳥獣対策連携センター  
兵庫県丹波市青垣町佐治 8-2

■ イラスト／米澤 里美





この印刷物は、環境を守るために、きちんと管理された森林から作る原料を使った紙【FSC認証用紙】と、有害な物質が出ず、紙のリサイクルがしやすいインキ【植物油インキ】、廃液の出ない、地球にやさしい【水なし印刷】で印刷しています。

